



# 国鉄新潟

NO. 904  
 発行  
 2017年  
 2月11日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 齊藤 仁司  
 編集責任者  
 教 宣 部



## 質疑・討論

### 2

## 第187回拡大中央委員会

### ホームの転落事故

●静岡地本「安全問題」ホームの転落事故が発生している。ホーム要員がない。ホームドアも無い。足元の点字ブロックの設置も検討していく。運輸局やJR東海へ改善要求をしていく。2019年ホームドアを設置。利用者とともに要求実現していくため運動を進めていく。

### 国労が訴え 統一行動を展開

共闘の争議団の署名の取り組み・JAL闘争の闘い、地本としても取り組んでいる。JAL闘争の会の会長に国労が就任した。JAL闘争の集会は国労が中心になって取り組んでいる。JAL闘争支援は国労がすべての労働組合・民主団体へ訴え統一行動を展開している。

キャラバン行動・東海も国労と



**ダンフ・トラック  
 パレード  
 4月16日(日)**



して30年を検証。貨物も株式市場の動きがある。貨物ではすべての職場で申し入れをしている。ストライキを背景に闘うことを要請している。貨物の職場の現状を訴える。客・貨一体の取り組みを進めていくこと。



### 郡山駅で5名の拡大

○仙台地本「安全・安定輸送の確立・昨年労災事故で組合員が亡くなった。全国から400万円の義援金が集まった。感謝申し上げる。プロジェクト会議の定例化・会社側と対峙していく。キャラバン行動で2月に集会を開催する。

組織拡大・拡大は郡山駅で5名の拡大、全分会で立ち上がり取組みを進めている。地方、本部からも出席し全体で意思統一を図った。

郡山駅では先に国労加入した青年が職場で運動を展開した。青年が国労の先輩がいなくなっても、きちんと訴えるようにしたいと言っている。平成採10名の組合員が中心になって取り組んでいる。



組織対策費について活動に対し財政の裏づけが必要だ。対策費の継続、予算措置を要請する。関連会社の国労加入・プロパー社員との交流を深める。低賃金で

### 職場環境を改善

不満・不安がある。労働運動の組織化。JR各社へ対応していくことが望ましい。労働環境、労働条件賃金の改善を取り組んでいく。

17春闘・2015年夏、車両清掃作業で冷房が効いていない中で作業していた。これを改善した。エルダー社員が中心に会社を動かしてJRへ改善を要求し車両清掃時、冷房電源を入れて冷房を効かせて作業ができるように改善した。

1月8日交流集会を以て意思統一を確認。スト1票投票で他労組から訴えがあった。

ストライキの配置、職場、分会の活性化、問題の解決が求められている。すべての闘いを組織拡大に結び付けていく。

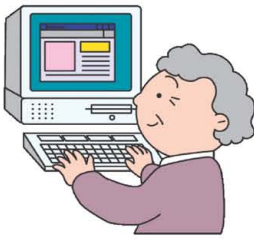






### ストライキを背景に

●東京地本は今年組織拡大を取り組む重要な年だ。JRに移行して30年。安党内閣打倒、総がかり行動の展開。新しい運動の実現、野党共闘の実現。市民と共に野党共闘を深めていく。共闘・共同行動を展開していく。17春闘・本部は春闘要求の実現などストライキを背景に運動を進めていくこと。ストライキは労働力をやめること。それは当然の権利だ。労働



働条件だけでなく利用者の安全を守る。ストライキを。組織拡大・他労組との違いを訴える。関連職場で国労加入がある。信

### JR九州は137人の合理化提案

○九州本部は熊本地震についてボランティア活動に参加した。そして全国からのカンパ400万円を県に渡した。感謝申し上げる。株式上場したが、安全・サービスが守られているのか疑問だ。事故が多く発生している。利用者にも影響が出ている。

3月のダイヤ改正で4両編成のワンマン化、朝のホーム要員の廃止など137人の合理化が提案された。株式上場してからも、安全問題について強化、宣伝行動、集会を開催し訴えていく。自然災害による車両脱線、土砂流入など発生し豊肥本線(立野)赤水駅間、熊本(肥後大津駅間)運転見合わせ、運休が続いている。復旧・

復興について今後も要請行動を強化していく。17春闘・昨年10月25日、時価5千億円規模で東証一部上場した。内部留保を出させる。賃上げ、労働条件の改善を要求、署名も取り組んでいる。



### ストライキを含めた闘いを

●高崎地本はキャラバン行動について2月14日に「JR移行30年・JRの安全問題、ローカル線切捨てを許さない」集会の開催と宣伝行動を実施する。地域共闘と共同開催する。17春闘・賃上げだけではない、統一要求を基本にストライキを含めた闘いに取り組んでいくこと。

# 国労中央行動 3月1日(水)

○全国キャラバン行動の集約集会も計画されています。当日は、集会・デモ・そして、国会議員要請や関係省庁への要請行動が計画されています。



### 沖縄へ3名参加

○近畿地本は沖縄基地建設反対の闘いに3名参加した。ダンブ搬入ゲートに機動隊が取り囲んでいた。10月18日に座り込み隊に機動隊員が差別用語を言って大きな問題になった。17春闘・分会代表者会議を開催し議論、意思統一を図り、オルグも実施した。再雇用についての学習会の



開催、労働契約法20条。再雇用制度は5割くらい賃金が減額になっている。ストライキの配置や20条についての本部の見解を求めろ。ローカル線廃止反対の集会の開催した。組織拡大について取り組みを強化した。

### なぜ国労運動が必要か 全体で意思統一する



●東京地本は17春闘・貨物は17年連続ベア0、人件費の削減など続いている。賃上げ、労働条件の改善を求めていく。貨物30年・大きな転換期にきている。5年後、完全民営化をめざす。そのため社員の賃金が抑制される。さらに国交省への要請、支持の取り組みを求める。

JR東日本・安全計画はしたが事故が多発している。原因、対策の究明、技術継承など取り組みを進める。ホームドアの設置・10万人の乗降者の駅は設置すること。ホームからの転落事故について安全対策事項で交渉し17春闘の中で求めていく。組織拡大・なぜ国労運動が必要なのか全体で意思統一し訴えていく。仲間を守る組合として訴える。労働者の権利を守る。全体を組織していく。労働条件も職場から運動、取り組み、グループ会社への労働条件も求めていく。非正規も含め組織拡大を訴える。新人への訴え、グループ会社へも取り組む。第86回定期大会は組織対策費について財政措置を求める。組織拡大費を厚くして欲しい。